



和光の緑と湧き水だより会報 Verda 204号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

2020年5月、6月の主な予定表 (2020年4月29日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・ 大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
5月	当面行いません。会報やメールでお知らせします	16日(第3土曜) 定期保全 9時半~	9日(第2土) 富澤湧水調査・保全 9時~ 20日(第3水) 大坂ふれあいの森 9時~
6月	同上	20日(第3土曜) 定期保全 9時半~	13日(第2土) 富澤湧水調査・保全 9時~ 17日(第3水) 大坂ふれあいの森 9時~

2020年度NPO法人 和光・緑と湧き水の会定期総会について

2020年4月25日(土)に開催を予定しておりました定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面による議案の通知と議決と致しました。その結果45名の方の賛同を得ました。ご協力ありがとうございました。総会資料にもありますように、会ではふれあいの森の保全に加え、富澤湧水の保全活用、和光の環境を守り市民に知ってもらい残していく活動を、これからも一步一步皆様と一緒に進めていこうと思います。和光の11の事業者様よりの賛助金を有意義に活用させていただこうと考えます。どうぞご協力御願い致します。

尚「会の年会費」についての質問では、保全や活用、会報作成や経理、監査、外部への申請、報告など全てを善意のボランティア活動で行っており、連絡費として月当たり100円(年1200円)を継続してきております。ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

コロナウイルスによる活動の禁止が緩和され、安心して皆さんで集える日を願っています。

大坂ふれあいの森コーナー

大坂ふれあいの森が協働事業に

会長 堀文雄氏



大坂ふれあいの森が和光市のふれあいの森として指定されてから10年が経ちました。和光の大切な湧水緑地であり、自主的に保全し、湧き水の会も学校や市民へ広報し活用してきました。ここにきて大坂ふれあいの森は2020年度に協働事業としてスタートし



2020年4月 新しい大坂ふれあいの森

ました。隣接地や近隣地はいまマンション建設ラッシュとなっている状況もお知らせしてきました。

2020年度初めに白子大坂ふれあいの森の会では、書面による総会を開き、活動に参加している会員へ通知し予算、事業計画をお知らせしました。

2019年度に湧水路の変更工事が行われ、敷地内の樹木も剪定や伐採が進みました。今ある環境で今までの経験を活かした湧水の水路づくりや、回遊式遊歩道の案、貴重な植物の保全区域など新たに区分けして始動しました。新型コロナウイルスによる影響を考慮して、出来る範囲で活動を継続しています。皆様よろしくお願いたします。 以上 大坂ふれあいの森から

富澤湧水斜面上部でヒロハアマナ保護区づくり

樹林公園のヒロハアマナ保護区では、ヒロハアマナが増え続け、密集してきています。元気で生育地を広げている状態ですが、密集を緩和する策が必要になってきています。春植物のヒロハアマナは現在種ができ、4月末には葉が枯れて地上から姿が消えるので、ちょうど今の時期、球根を掘り出し移植を試みています。2年前にも公園内のドングリの森内に移植したヒロハアマナは、森の落ち葉の中で葉を広げ生き生きと生育しています。今回は、湧水地としての富澤湧水の森の上部に移植を試みています。ヤダケなどを取り除き、少しずつ移植し今後の状況をよく観察していこうと思います。



ヒロハアマナの球根移植

樹林公園の松育成林で剪定と草刈りを実施 2020年3月23日

2020年3月 松の剪定と草刈り



公園内の松林は、2010年頃より松枯れを生じ、桜の枯れ死とともに、公園の衰退が見られたため、園内で自生した実生の松を幼樹として育てました。公園環境を活かしより良くする試みです。ヒロハアマナ保護区内で、機械での草刈りを行わなかったため、松の実生が沢山自生してきました。その実生の松を鉢植え

にしドングリの森の一角に苗床として保護。その2年後、ある程度成長した苗を



2011年11月10日 実生の松の鉢植えづくりと苗床



2015年観察会昆虫探し森遊び

ヒロハアマナ保護区の近くに、約5メートル間隔で定植。ぐんぐん成長し幹の太さが15cm程になり、松の樹林が出来つつあります。草地広場が多い公園内に、緑濃い樹林公園の役割でもあります。園内を見渡すと、あちこちに松の幼樹が刈られずに残っており公園の新しい風景となっていくようです。実生から育成して約10年、下枝の剪定、樹形を整え、下草刈りも行いました。

2016年



松の森づくり実生から10年